

平成29年 1月29日執行 北九州市議会議員一般選挙  
臨時啓発事業結果

1 若い世代を対象にした主な事業

区分	事業の種類	事業の内容	期間
電波通信	大学HP バナー広告	市内各大学に協力を依頼し、大学のHPに市議会議員選挙のお知らせをバナー広告に掲載した。	1月20日 ～1月29日
	SNS広告	SNS(facebook、instaguram)に広告を掲載した。	1月20日 ～1月29日
紙面 広告	広報紙広告	平成28年12月発行の「北九P協新聞」(PTA広報誌)に広告を掲載し、小中学校を通じて、家庭に配布した。	12月14日
	広報紙広告	市内の大学生向けフリーペーパー「QUTE TIMES」に選挙に関する大学生座談会を実施し、掲載した。	1月20日
	広報紙広告	乳幼児の子育て世代向けフリーペーパー「リトル・ママ」に広告を掲載した。	1月20日
イベント	成人式	成人式会場において、模擬投票を実施する。また、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけた。	1月8日
	啓発イベント	本山雅志氏（ギラヴァンツ北九州）を招いて、トークショー、選挙クイズ、投票参加の呼びかけを実施した。また、山田章仁氏（ラグビー日本代表）のビデオメッセージを放映した。	1月28日
その他	漫画ミュージアム	選挙や政治への関心を高めるため、選挙、政治に関する漫画の特設コーナーを設置し、啓発ポスター、新有権者向けパンフレット等や啓発物品を配布した。	12月29日 ～1月29日
	大学構内での啓発	大学食堂に投票期日を記載した割り箸を設置し、大学生向けの啓発を行った。	1月10日 ～1月27日
	臨時 期日前投票所	北九州市立大学 ひびきのキャンパス（若松区）へ臨時期日前投票所を設置した。	1月23日
	高校生の期日前 投票立会人	「7区統一 高校生立会人デー」を設定し、各区役所期日前投票所の投票立会人に高校生が従事した。	1月21日

## 2 幅広い世代を対象にした主な事業

区分	事業の種類	事業の内容	期間
電波 通信	テレビ・ラジオ	民放テレビ5社、民放ラジオ5社において投票期日等を告知するCMを放送した（約100本）。	1月20日 ～1月29日
	テレビ・ラジオ	市政テレビ・ラジオ番組の枠内を利用して投票日等の周知をした（110本）。	1月20日 ～1月29日
	大型映像装置	JR小倉駅マルチビジョン等の大型映像装置を利用してCMを放送した。	1月20日 ～1月29日
	メールマガジン	市広報室の「メールマガジン」を希望している人に対し、選挙のお知らせの電子メールを送付した。	1月15日
	有線放送	JR黒崎駅、折尾駅周辺に設置されている有線放送から選挙のお知らせを放送した。	1月21日 ～1月29日
	施設内放送	市役所、区役所、モノレールの駅等で選挙のお知らせを放送した。	1月22日 ～1月28日
	ホームページ	市選管のホームページに選挙のお知らせ用ページを作成し、投票日当日は、投開票速報を掲載した。特設サイトを作成し、投票所に入ってから投票するまでの手順をユーモアを交えて情報発信した。	12月26日 ～1月29日
紙面 広告	新聞広告	投票日当日、主要紙朝刊に広告を掲載した。	1月29日
	雑誌	北九州市内で発行されるフリーペーパーに広告を掲載した。	1月20日 ～1月29日
	市政だより	市政だより（1月15日号）に選挙に関する記事を掲載した。	1月11日～
イベント	選抜女子駅伝 北九州大会での啓発	女子駅伝中継番組内でラジオCMを放送した。	1月22日
ポスター類	ポスター	ポスターに、山田章仁氏（ラグビー日本代表）をイメージキャラクターとして掲載した。ポスターを市役所や区役所などの公共施設、デパート、スーパー、金融機関、JR駅、モノレール、バス、高校、大学に掲示した。	1月4日 ～1月29日
看板、幕類	看板	市役所、区役所、出張所に建植看板を設置した。	1月11日 ～1月29日
	期日前投票 周知用看板	区役所、出張所に期日前投票用周知看板を設置した。	1月21日 ～1月28日
	懸垂幕、横断幕	区役所、勝山公園に懸垂幕、横断幕を掲出した。	1月11日 ～1月29日

	幟	区役所、出張所に幟を設置し、街頭啓発においても活用した。	1月11日 ～1月29日
	車体幕	消防車、環境車などの大型公用車両の前面に車体幕を掲出した。	1月4日 ～1月29日
宣伝車	ゴミ収集車、公用車による放送	ゴミ収集車及び公用車がお知らせを放送しながら市内を巡回した。	1月6日 ～1月29日
	民間宣伝車	ビルボードカーが、市内全域を移動しながら投票を呼びかけた。	1月21日 ～1月29日
その他	街頭啓発	明るい選挙推進協議会が中心となり、各区それぞれで地域の特性を生かした街頭啓発を実施した。	1月13日 ～1月29日
	交通広告	J R 駅のステップ広告を掲出した。	1月5日 ～1月29日
	区役所窓口での啓発	区役所窓口で啓発物品を置き、来庁者に投票を呼びかけた。	1月20日 ～1月29日
	ポスターコンクール展	ポスターコンクール入賞作品展を開催、併せて市議会議員選挙のPRポスターを掲出した。	1月10日 ～1月31日
	コンビニエンスストアを活用した啓発	市内の主なコンビニエンスストアにポスターを掲示した。	1月24日 ～1月28日
	QRコードによる啓発	ポスター掲示場表示板やポスター等にQRコードを印刷し、携帯電話等での市議会議員選挙ホームページへの接続を容易にした。	1月6日 ～1月29日

## 平成29年度 明るい選挙推進事業計画

事業の種類	事業の名称	予算 (千円)	内容	時期	対象
政治学級 設置・育成 事業	まちの政治を みつめよう学級の 設置・育成	996	身の回りの生活と政治との関わりをテ ーマに話し合い学習を行う「まちの政治 をみつめよう学級」の設置、育成	通年	自主学級 36学級 647人程
	学級リーダー 研修会		学級のリーダーと一緒に会し、社会問 題や学級運営上の課題についての話し 合い	11~2月	学級リーダー ほか
	「学級の記録」 発行		学級運営の参考とするため、各学級の 活動内容を記録にして発行	9月	学級生 明推協関係者
指導者及び助言者養成研修事業		398	(公財) 明るい選挙推進協会や県選管が 主催する研修会に参加 指定都市明推協会長研修、中央研修会、 青年リーダー養成研修ほか	随時	明推協委員 学級生 「つとめ」学生 選管職員
明るい選挙 推進協議会 設置・運営 事業	明るい選挙推進 協議会の設置・運営	336	明るい選挙啓発事業の企画及び効果的 な実施方法について協議する推進協議 会を設置、運営	5~7月 (総会)	明推協委員
	「明るい選挙」 の発行		明るい選挙推進運動の活動内容紹介の ためリーフレットを発行	3月	明推協関係者 学校関係者
	祭り等における 啓発		各区の祭り等に区明推協関係者が参加 し、明るい選挙の推進を呼びかけ	通年	一般市民
	啓発看板		寄附禁止(3ない運動)の標語を記載 した看板の掲出	通年	一般市民
広報事業	新有権者へのお知 らせ	1,363	新有権者に対して入場整理券(選挙時登 録)または、はがき(定時登録)で投票 参加を呼びかけ 市内大学の新入生にリーフレット配布	通年	一般市民
	高校生向けリーフ レット		高校生向けのリーフレットを作成し市 内の高校生全員に配布する	11月	市内高校生
	中学校3年生向け 副読本		民主政治と政治参加を学習する際に活 用してもらうため、市内の中学校に配布	9月	市内中学3年生
講演会等 開催事業	出前講演	2,145	高校等の学校や各種会合で選挙のしく みや寄附禁止に関する出前講座を実施	通年	児童、生徒、学 生
	選挙を考える 大学生のつとめ		市内4年制の大学生に対する政治意識 の向上を図るための意見交換	通年	市内大学生
	成人式における 啓発イベント		新成人に有権者としての自覚を促すた め選挙啓発イベント開催	1月	新成人
	模擬投票イベント		子育て世代を対象とした模擬投票イベ ントを実施	10月	子育て世代
	投票箱、投票用紙記 載台の貸出		生徒会役員選挙時などに投票箱、投票用 紙記載台を貸出	通年	市内小・中・高・ 特別支援学校生
啓発作品 募集事業	明るい選挙啓発 ポスター募集	604	市内小・中・高校の児童、生徒を対象 に明るい選挙推進をテーマとするポス ターを募集	7~9月	市内小・中・高・ 特別支援学校生
	明るい選挙啓発 ポスター展		一般市民への関心を高めるため、明る い選挙啓発ポスターコンクールの入賞作 品を展示	1月	一般市民
関係団体提携事業		400	(公財) 明るい選挙推進協会分担金		
事務費		58			
合計		6,300			

## 若年層（20 代、30 代）に対する啓発について

### 1 選挙啓発動画の作成（さいたま市選管）

- 選挙の大切さを知ってもらうため、目白大学 社会学部 メディア表現学科の学生と共同して選挙啓発動画を作成した。
- 「Level up! あなたも素敵な大人に！」  
初めて選挙権をもった 18 歳の主人公が投票を体験することで、何かに目覚め、レベルアップ（成長）していくというストーリーの動画。

### 2 AR 選挙啓発ポスター（千葉市選管）

- AR（拡張現実）の技術を活用し、CM 動画を見ることができる AR 選挙啓発ポスターを製作した。
- AR 選挙啓発ポスター：スマートフォンに専用アプリをダウンロードし、画像にかざすと CM 動画が見られる仕組み

### 3 親子で投票にいこう！キャンペーン（千葉市選管・川崎市選管）

- 親子と一緒に投票所に行くことを促す選挙啓発チラシを作成し、市内小学校、中学校等へ配布した。
- チラシに掲載されている選挙クイズに応募すると、抽選で記念品（LED ライト）を贈呈する。
- 応募方法は、投票所に設置した応募箱に、子どもが選挙クイズの回答を入れる（郵送等も可）。
- なお、川崎市の応募方法は、郵送等のみ（応募箱は設置しない）。

### 4 乳幼児健診を活用した、子育て世代への啓発（横浜市選管）

各区で実施する乳幼児健診会場などで、クリアファイルを配布し子育て世代への啓発を実施した。

### 5 障害を持つ若年層向けリーフレットの作成（京都市選管）

主に障害を持つ若年有権者向けに、代理投票や郵便等による不在者投票の投票方法について、分かりやすく解説したリーフレットを作成し、支援学校等に配布する予定。

## 6 高校生による地下鉄駅構内放送（福岡市選管）

- 平成 28 年 7 月執行の参議院議員通常選挙の際に、市内高校 3 校の生徒が若者への投票参加の呼びかけを録音し、市内地下鉄全 35 駅で放送した
- 放送の前後に、それぞれの学校の校歌を挿入するなど、乗降客の関心を引かせる工夫をした。

## 7 高校生の協力によるチラシ、ぬり絵の作成（愛知県 新城市選管）

- 高校の美術部の協力を得て、市のご当地めいすいくん「しんしろ戦国めいすいくん」のぬり絵の作成をおこなった。
- ぬり絵は市内の保育園児全員に配布し、期日前投票所に設置したぬり絵用投票箱にぬり絵を入れると啓発物品がもらえる仕組みとした。

※ 新城市人口：47,133 人（平成 27 年 10 月 1 日 国勢調査）

※ 期日前投票所数：3 ヶ所 新城市役所東庁舎、鳳来総合支所、作手総合支所

## 8 スマートフォン用アプリ「Let' vote!」今日は投票記念日（福井県選管）

- 若い有権者を投票所に誘引することを目的に、スマートフォン用アプリを作成した。
- アプリには県の地図上に投票所が表示され、指定した投票所までナビゲートする。
- 投票所に到着すると県選管啓発キャラクターなど 12 種類の記念撮影フレームの中から 1 つを取得し、記念撮影をすることができる。

## 9 選挙コンシェルジュ（選挙啓発の学生支援スタッフ）（松山市選管）

- 平成 25 年 7 月の参議院議員選挙に全国初となる大学への期日前投票所の設置をきっかけとして、平成 26 年 2 月から学生を選挙啓発のセミプロ「選挙コンシェルジュ」として活動している。
- 「選挙コンシェルジュ」：約 30 人（高校生、専門学校、大学生）
- 平成 28 年 7 月の参議院議員選挙では、選挙 CM、選挙期日までのカウントダウンを知らせるカレンダーの作成、SNS での情報発信などを行った。

## 10 福岡市明るい選挙推進グループ CECEUF（福岡市選管）

- 福岡市明るい選挙推進協議会の委員である市内 4 年制大学 5 校の教授を通じて学生に参加を呼びかけ、平成 21 年 1 月に発足した（メンバー：約 20 名）。
- 月 1 回のミーティング、小学 6 年生を対象とした「明るい選挙出前授業」への協力している。

- 選挙時の街頭啓発(メンバー手書きのメッセージ入りのティッシュの配布、若者へのアンケート調査など)、テレビ、ラジオ等市広報番組への出演、期日前投票の立会人も務めている。

## 11 選挙メッセージ葉書の募集、表彰、発送(茨城県選管)

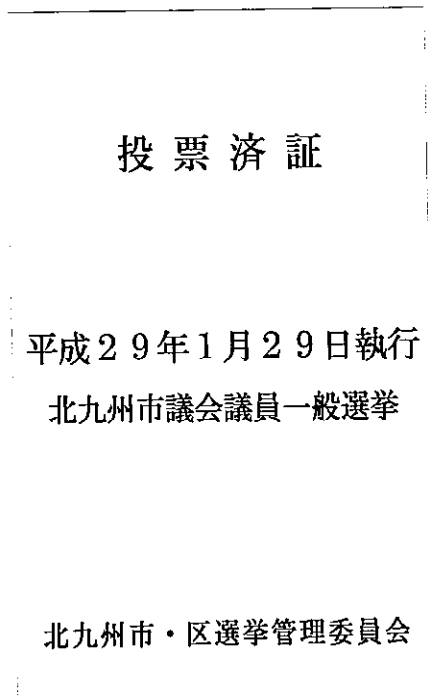
- 選挙ガイドブック「18歳のわたしへ」を作成し、県内すべての中学校に、3年生の人数分を配布する。
- 「18歳のわたしへ」の巻末には、葉書を付けており、授業で選挙について学習したあと、その葉書に3年後18歳になって選挙権を持つこととなる自分自身に宛てたメッセージを書くようになっている。
- 各学校は生徒が書いた葉書をまとめて、県選管に提出し、県選管は優秀なメッセージを審査し、表彰する。
- 県選管は、すべての葉書を3年間保管し、3年後18歳になった年に行われる選挙のとき、3年前のメッセージが書かれた葉書を本人に発送する(平成28年度:15,352件の葉書の提出)。

### ※ 出典

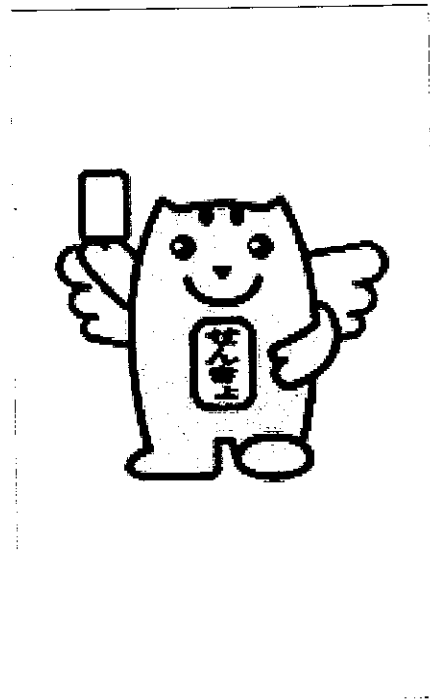
- 1 平成29年5月18日・19日開催 指定都市選挙管理委員会連合会 通常会議資料から抜粋
- 2 平成29年3月 公益財団法人 明るい選挙推進協会発行  
「選挙啓発事例集—第24回参議院選挙—」から抜粋
- 3 松山市ホームページ  
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/senkyo/senkyoconcierge.html>
- 4 平成23年12月 「常時啓発事業のあり方等研究会」最終報告書 20ページ
- 5 福岡市ホームページ  
<http://senkyo.city.fukuoka.lg.jp/youth/introduction/?url=introduction>
- 6 都道府県選挙管理委員会連合会 「月刊選挙 2017年6月」16ページから18ページまで

投票済証（見本）

（表）



（裏）



発行枚数

6, 493枚（全市）

（平成29年1月29日執行北九州市議会議員一般選挙）